

平成22年12月27日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅ
キャスク詰めピットからの仮設照明蛍光灯止め具の回収について
(お知らせ)

高速増殖原型炉もんじゅ(定格出力28.0万kW)は、設備点検中のところ、12月21日9時55分頃、原子炉補助建物内の燃料池エリア(管理区域)において、仮設照明蛍光灯のカバー止め具(直径約5cm×長さ約10cmのキャップ状、約70g、プラスチック製)が、照射後燃料検査用輸送キャスク詰めピット*に落下しました。当該ピットは、燃料を貯蔵する場所ではなく、当該ピットの水の放射性物質濃度は検出限界未満であり、環境への影響はありません。

【12月21日 お知らせ済み】

12月24日17時45分、当該ピットに落下した仮設照明蛍光灯のカバー止め具など全てをステンレス製のパイプ(直径約6cm×長さ約17m)の先端に網を取付けた治具を用いて回収しました。

今後、燃料池近傍で作業を実施する場合は、燃料池及びキャスク詰めピットへの工具等の落下を防止するために必要な対策を講ずることを文書に定めるとともに、以下のような対応を行いました。

- (1) 仮設照明器具やその他、落下する恐れのある物品の点検を行った
- (2) 落下防止シートを追加設置した
- (3) 落下防止を注意喚起する表示を行った

* 照射後の燃料などを輸送キャスクに水中で収納する場所であり、燃料を貯蔵する場所ではありません。

以上